

揖保川のこれからの川づくりに 関する説明会の結果について

揖保川のこれからの川づくりに関する説明会

◆説明内容

- ①河川整備計画と揖保川流域委員会について
- ②揖保川水系河川整備計画(原案)の構成について
- ③整備計画における治水対策メニューについて

【たつの市】

- 日 時：平成22年3月6日(土) 10:00～12:00
- 場 所：たつの市はつらつセンター 3階 多目的ホール
- 出席者：一般参加者 15名

【宍粟市】

- 日 時：平成22年3月6日(土) 14:00～16:00
- 場 所：宍粟市山崎文化会館 2階 ホール
- 出席者：一般参加者 21名

【太子町】

- 日 時：平成22年3月19日(金) 19:00～21:00
- 場 所：あすかホール(太子町文化会館) 2階 研修室
- 出席者：一般参加者 52名

【ご意見等発言者】

- 計18名(姫路市在住2名、たつの市在住6名、宍粟市在住7名、太子町在住3名)
- 主な意見:38件
 - ・内容の確認 :23件
 - ・要望 :15件

揖保川のこれからの川づくりに関する説明会

◆意見1：山林対策（治山との連携）

（住民A）

- ・洪水が引いた後を見ると、きれいに切られた木（間伐材）がたくさん流れている。
- ・そんなのがどんどん流れて、堰止めとなって水の量がふえた。
- ・間伐した後も、その木の処理、ただ山に切って横にして置いておくだけでなしに、国交省なり農林水産省ときっちり話、横の連絡を取って、水害が来たらこういう事体が発生するということを説明して、農林水産のほうにも一言言ってもらいたい。

（住民B）

- ・日本の行政の縦割りの弊害である。
- ・治水について、もし山が丸裸になってしまうと、山に降った雨は即座に谷に流れ込んでしまう。
- ・国土交通省の河川局だけの構造物をつくるような河川管理ではなしに、山や森は緑のダムであるということがうたわれており、農水省もこのグループの中に入れてもらったらどうか。

（住民C）

- ・揖保川流域の治水対策の話を知っているが、治水の前に治山も大事なのではないか。
- ・山肌が再度崩れて大きな被害を出している。上流の山合いから流れ出た土砂によって埋め尽くされているという田んぼも多い。
- ・その横の連絡があるかということを考えたい。

【揖保川水系河川整備計画（原案）での対応】

4.4.3危機管理対策に関する事項 (5)流域対策

- ・山林の荒廃や開発等による土砂や流木の流出の増大を軽減するため、国、関係自治体が連携して流域の保水・遊水機能の保全・改善・流木対策を促進する。
- ・整備途上における洪水や目標規模を上回る規模の洪水による被害軽減のため、遊水地効果のある氾濫域については関係機関等と調整を図り、確保に努める。

揖保川のこれからの川づくりに関する説明会

◆意見2：環境に配慮した施工形態

(住民D)

・河床がかなり下がっております。昔の揖保川のような環境面の中で配慮した災害復旧の形を考えていただきたい。

(住民E)

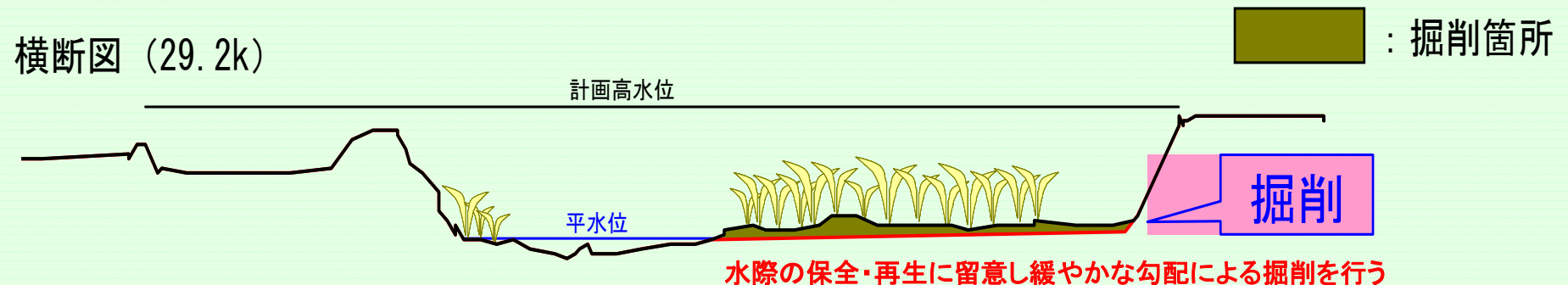
・この土砂の撤去を希望。これも揖保川の生態云々から言って、この8月の大水以降は、昔は砂やバラスがあった河原が今は泥沼化してる。魚そのものもなかなか見えない、私が小さいころには川で遊んだりしていた、環境への配慮云々のところで、もう少し川に親しめるように。

【揖保川水系河川整備計画(原案)での対応】

4. 河川整備の実施に関する事項

- ・河川整備の実施にあたっては、河川全体の自然の営みを視野に入れ、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮し、河川が本来有している河川環境、並びに多様な河川景観を保全あるいは創出する多自然川づくりを基本的な考えとする。
- ・特に水際部は多様な河川環境を創出していることに留意し、堤防の保護や高水敷利用の観点から河岸侵食防止の重要性が高く水際の護岸整備等を行う場合にあっても、水際の保全を十分に考慮する。
- ・河川整備の実施において、進捗や事業実施に伴う効果や影響、地域状況を含めた条件変化について適宜有識者の意見等を聴き、必要に応じてその後の整備計画に反映させる。計画の実施状況等については、インターネット等を利用し地域住民等と情報共有できるようにする。

【水際の保全に配慮した河道掘削のイメージ】



揖保川のこれからの川づくりに関する説明会

◆意見3:生態系に配慮した維持管理

(住民F)

- ・揖保川の両岸が樹木なり、雑草がはびこっている。治水上問題であるため、これを一遍刈るよう提言をした。即座に対応されて、両岸の樹木が全部伐採された。
- ・河川の両岸の樹木はコリドー(通路)の役割をしている。
- ・流れに沿って流れと平行な状態で木を何本か残していけば、水害には影響が出ない。
- ・もっと管理の面をきちんとやっていただきたい。

【揖保川水系河川整備計画(原案)での対応】

4.4.2河川区域の管理に関する事項 (2) 樹木の伐採と管理

- ・洪水を安全に流下させるために支障となる樹木は伐採するとともに、発達した樹木については、生物の生息・生育・繁殖の場に配慮した輪伐(図-4.4.2)による計画的伐採を実施する。
- ・また、伐採した樹木については、有効利用について検討を行う。検討にあたり、地域住民と協働して積極的に取り組んでいく。

